創新寮規程

- 第1条 この規程は、創新寮（以下「本寮」という。）に必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 本寮は関西学院大学学生生活動支援機構レジデンスセンターの所管に属す。
- 第3条 本寮は、神戸三田キャンパスの学生等が安心して勉学及び研究に専念することができる住環境を提供すること、並びに寮生が共同生活を通して様々な個性や価値観等への理解を深め、多様化する社会の中で活躍できる人材に成長することを目的に設置する。
- 第4条 本寮に入寮できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
- 1 本学に在学する学部・大学院学生。但し、神戸三田キャンパスの学部・大学院に在籍するものを優先する。
 - 2 本学との協定に基づく交換学生
 - 3 その他レジデンスセンター長が適当と認めた者
- 第5条 本寮に入寮できる期間は各課程の修了年限までとする。ただし、学部から大学院及び大学院の博士課程前期課程・修士課程から博士課程後期課程に進学した者は継続して在寮することができる。正規学生以外の者については、入寮できる期間は2年以内とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、レジデンスセンター長は、寮生の事情によって、入寮期間の延長を認めることができる。
- 第6条 本寮には寮監及び管理人を置くことができる。
- 2 寮監は寮生の生活全般について配慮し、寮生を指導・助言する。
 - 3 管理人は寮の管理及び清掃業務等を行う。
- 第7条 本寮には寮生から選ばれたフロアーリーダー（以下「FL」という）を置くことができる。
- 2 FLについては別に定める。
- 第8条 入寮しようとする者は、所定の入寮願を定められた期日までにレジデンスセンター長に提出するものとする。
- 第9条 入寮選考は、レジデンスセンター長が任命した教職員による入寮選考委員会が選考を行い、レジデンスセンター長が決定する。入寮選考委員については別に定める。
- 第10条 レジデンスセンター長は、入寮者が次の各号の一に該当するときは、その者に係る入寮の許可を取り消し、又は退寮させることができる。
- 1 第4条に定める入寮資格を失ったとき
 - 2 第14条に定める寮費等を納付しないとき
 - 3 第16条に定める義務を履行しないとき
 - 4 本寮の管理運営に重大な支障を与えたとき又は与えるおそれのあるとき
 - 5 その他レジデンスセンター長が寮生として不適当と認めたとき

2 前項の規定により許可を取り消された場合に当該寮生が被る損失については、本学はその責を負わないものとする。

第 11 条 寮生が自己都合で本寮を退寮するときは、別に定める様式により退寮願をレジデンスセンター長に退寮日の 1 カ月以前に提出するものとする。

第 12 条 寮生は外来者を許可なく寮生の寮室フロアーに入れることはできない。又、寮生であっても異性の寮室及び異性の専用フロアーに立ち入ることはできない。

第 13 条 寮生は毎年度、大学が定期に実施する健康診断を受けなければならない。保健館長が保健衛生上の理由から退寮が必要と認めた者があるときは、レジデンスセンター長は保健館長と合議の上、これを退寮させることができる。

第 14 条 入寮費、寮費及び管理費は別にこれを定めるものとする。

2 入寮費、寮費及び管理費の変更はレジデンスセンター委員会及び大学評議会の議を経て、理事会で決定する。

第 15 条 寮生は、寮の施設、設備を正常な状態に保全することに留意しなければならない。

第 16 条 寮生が、寮の施設、設備を滅失し、又は損傷したときは、遅滞なくこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

第 17 条 この規程に定めるもののほか、その他必要な事項については、別に定める。

第 18 条 この規程に関する事務は、学生活動支援機構事務部において行う。

第 19 条 規程の改廃は、レジデンスセンター委員会の議を経て大学評議会で決定する。

附 則

この規程は、2024 年（令和 6 年）10 月 1 日から施行する。